

別記様式（第5条関係）

No.	4250757	事務事業評価票		所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登				
				所管課・係名	農林水産部_千丁農林水産事務所				
				課長名	山本 誠				
評価対象年度	平成25年度		(Plan) 事務事業の計画						
事務事業名	農村公園管理事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	11
				事業コード(大-中-小)	04	—	11	—	38
施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち						
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり						
	施策の展開(項)【施策】	1	経営安定を目指した農業の振興						
	具体的な施策と内容	4	農村環境の整備						
事務事業の目的	農村地域に在住する、子供からお年寄りまでの地域市民が利用する、農村公園内の整備された施設の維持管理を行い、地域市民への憩いの場を提供する。								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	千丁校区管内の農村公園8箇所 総面積12,199m2の維持管理事業 ・光熱水費(水道料、下水道料、電気料) ・修繕費(トイレ、遊具、街灯、その他) ・手数料(トイレ汲取り等)								
根拠法令、要綱等	八代市農村公園条例								
実施手法 (該当欄を選択)	● 全部直営		一部委託	全部委託	法令による実施義務 (該当欄を選択)	1 義務である ● 2 義務ではない			
事業期間	開始年度	平成17年度(合併後)		終了年度	未定				

(Do) 事務事業の実施									
評価対象年度の事業の内容									
対象 (誰・何を)		内容 (手段、方法等)							
農村地域に在住する子供からお年寄りまでの地域市民		公園内の整備された施設の維持管理 (施設の修繕及び光熱水費の支払い)							
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)									
遊具やゲートボール場を利用することによって、地域市民の憩いの場を提供する。									
事業開始時点からこれまでの状況変化等									
農村公園8箇所全てが昭和62～63年度に整備されており、26～27年が経過している。よって施設の老朽化が目立っており、さらなる予算の増加が見込まれる。									
コスト推移				24年度決算	25年度決算	26年度予算	27年度見込	28年度見込	29年度見込
総事業費 (単位:円)				—	3,108,473	3,053,000	4,853,000	2,353,000	2,353,000
事業費(直接経費) (単位:円)				807,092	1,008,473	1,653,000	4,153,000	1,653,000	1,653,000
財源内訳	国県支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他特定財源 (特別会計→繰入金)			0	19,000	0	0	0	0
	一般財源 (特別会計→事業収入)			807,092	989,473	1,653,000	0	0	0
人件費				24年度	25年度	26年度見込	27年度見込	28年度見込	29年度見込
概算人件費(正規職員) (単位:円)				—	2,100,000	1,400,000	700,000	700,000	700,000
正規職員従事者数 (単位:人)				—	0.30	0.20	0.10	0.10	0.10
臨時職員等従事者数 (単位:人)				—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	8地区公園敷地内及びトイレ清掃等	回	計画	—	224	224	224	224
				実績	224	224	—	—	—
	②			計画	—				
				実績			—	—	—
	③			計画	—				
実績						—	—	—	
〈記述欄〉※数値化できない場合									

別記様式（第5条関係）

指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	① 施設の修繕件数 地域からの要望が経過100%の満足度と捉えられる。			計画	-	7	4	8	8	8	
				実績	3	5	-	-	-	-	
	②				計画	-					
					実績			-	-	-	-
	③					計画	-				
						実績			-	-	-
〈記述欄〉※数値化できない場合											

(Check) 事務事業の自己評価			
着眼点		チェック	判断理由
事業実施の 妥当性	① 【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	● 結びつく 一部結びつく 結びつかない	市として地域市民に憩いの場を提供するのは当然である。
	② 【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	● 薄れていない ● 少し薄れている ● 薄れている	少子化及びゲートボール人気低迷により、公園の利用が減少している。
	③ 【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか(国・県・民間と競合していませんか)	● 妥当である ● あまり妥当でない ● 妥当でない	公園施設は市の市有財産であるため、維持管理するのは当然である。
活動内容の 有効性	① 【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	● 順調である ● あまり順調ではない ● 順調ではない	少子化と趣味の多様化により、利用者が減少している。
	② 【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか(成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)	● 見直しの余地はない ● 検討の余地あり ● 見直すべき	地域の愛護会等と協力しながら利活用を図る。
実施方法の 効率性	① 【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	● できない ● 検討の余地あり ● 可能である	H26年度から、委託費を計上し、少額の修繕関係及び維持管理(草刈り・伐採等)を地域で行う。
	② 【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	● できない ● 検討の余地あり ● 可能である	地域性を配慮して設置した公園であり、地域と密着した利活用が行われている。
	③ 【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか	● できない ● 検討の余地あり ● 可能である	地域の愛護会に委託することによって、人件費を削減することは可能である。
	④ 【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しの余地はない ● 検討の余地あり ● 見直しが必要である	受益者負担はない。

別記様式（第5条関係）

(Action) 事務事業の方向性と改革改善									
今後の方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止) 2 民間実施 ● 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)			(今後の方向性の理由) H26年度から地域の愛護会に草刈等を委託している。 H27年度から公園の利用計画等も併せて委託する。					
	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果								
改革改善内容									
H26年度から地元愛護会に委託する。 市と地域市民で連携することによって、経費の節減及び利用者のマナー向上により、公園利用の活性化につながる。									
改革改善による期待成果									
		コスト			外部評価の実施	無		実施年度	
		削減	維持	増加					
成果	向上				改善進捗状況等	H25進捗状況			
	維持	●				H25取組内容			
	低下								
決算審査特別委員会における意見等					特になし (委員からの意見等)				

別記様式（第5条関係）

No. 4250754

事務事業評価票

所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登
所管課・係名	農林水産部 千丁農林水産事務所
課長名	山本 誠

評価対象年度 平成25年度

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	千丁ふれあい農園管理運営事業		会計区分	01 一般会計		
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01 — 11
			事業コード(大-中-小)	04	—	11 — 39
施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち			
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり			
	施策の展開(項)【施策】	1	経営安定を目指した農業の振興			
	具体的な施策と内容	4	農村環境の整備			
事務事業の目的	市民へ農作業体験を行うことができる場を提供し、自然とふれあうとともに農業に対する理解を深めてもらう。					
事務事業の概要 (全体事業の内容)	農園の運営・管理。 運営 ⇒ ①利用者募集 一般用 35㎡(34区画)・身障者用 7.8㎡(2区画) ②利用手続き事務 管理 ⇒ 空き区画と共用部分の除草作業等					
根拠法令、要綱等	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律					
実施手法 (該当欄を選択)	● 全部直営	一部委託	全部委託	法令による実施義務 (該当欄を選択)	1 義務である ● 2 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定		

(Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容	
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
農地を保有しない市民	・広報やつしろや市HPにて利用者募集の広報 ・利用希望者の申請受付や貸出しの手続き
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	
全区画を利用してほしい農業を体験してほしい。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	
平成12年の開設以来、旧千丁町時代には空き区画があり、維持管理に時間を要したが、合併後は八代市全体へと募集を行っているため、空き区画も少なくなり、維持管理の省力化が図られている。	

コスト推移		24年度決算	25年度決算	26年度予算	27年度見込	28年度見込	29年度見込
総事業費	(単位:円)	—	1,484,308	1,490,000	1,490,000	1,490,000	1,490,000
事業費(直接経費)	(単位:円)	83,726	84,308	90,000	90,000	90,000	90,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源 (特別会計→繰入金)	83,726	84,000	90,000	90,000	90,000	90,000
	一般財源 (特別会計→事業収入)	0	308	0	0	0	0
人件費		24年度	25年度	26年度見込	27年度見込	28年度見込	29年度見込
概算人件費(正規職員)	(単位:円)	—	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
正規職員従事者数	(単位:人)	—	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
臨時職員等従事者数	(単位:人)	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業の活動量・実績の数値化	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
				計画	実績	計画	実績	計画	実績
①	利用者の募集広報	回	計画	—	1	1	1	1	1
			実績	1	1	—	—	—	
	②			計画	—	—	—	—	
				実績	—	—	—	—	
	③			計画	—	—	—	—	
				実績	—	—	—	—	
〈記述欄〉※数値化できない場合									

別記様式（第5条関係）

指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	① 区画の利用率	区画の利用者が増えれば、農業を体験する人も増えるため	計画	-	97	100	97	97	97
				実績	97	97	-	-	-
	② 維持管理の時間	維持管理に費やす時間が少なければ、ほかの事務に貢献できるから	計画		-	24	20	20	16
				実績	24	24	-	-	-
	③		計画		-				
				実績			-	-	-
〈記述欄〉※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価				
着眼点		チェック	判断理由	
事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	<ul style="list-style-type: none"> ● 結びつく ● 一部結びつく ● 結びつかない 	農業への理解が高まることや、耕作活動が広がることで耕作放棄地の解消の一助となる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	<ul style="list-style-type: none"> ● 薄れていない ● 少し薄れている ● 薄れている 	食の安全への関心、中高年齢層の人口の増加など、自ら野菜などを栽培したいと考える市民は多い。
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか（国・県・民間と競合していませんか）	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当である ● あまり妥当でない ● 妥当でない 	国・県・民間との競合はない。
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	<ul style="list-style-type: none"> ● 順調である ● あまり順調ではない ● 順調ではない 	空き区間が少なく、利用者の利用状況も良好である。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか（成果をこれ以上伸ばすことはできませんか）	<ul style="list-style-type: none"> ● 見直しの余地はない ● 検討の余地あり ● 見直すべき 	千丁においては1つの農園で妥当と考える。
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	<ul style="list-style-type: none"> ● できない ● 検討の余地あり ● 可能である 	土地所有者＝民間(NPO法人等)＝農業体験希望者 のように、NPO等が、土地所有者と農業体験希望者とをマッチングできる体制が構築できれば可能だと考える。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	<ul style="list-style-type: none"> ● できない ● 検討の余地あり ● 可能である 	類似・関連の事業が見当たらない。
	③	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか	<ul style="list-style-type: none"> ● できない ● 検討の余地あり ● 可能である 	職員が、必要なときに応じて迅速に対応したほうが、コストはかからない。
	④	【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃止）	<ul style="list-style-type: none"> ● 見直しの余地はない ● 検討の余地あり ● 見直しが必要である 	借地料、使用料は検討の余地はあり。

(Action) 事務事業の方向性と改革改善									
今後の方向性 <small>(該当欄を選択)</small>	1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) ● 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 事務手続きは簡素化されているので、維持管理に係る部分についての改善を図る。							
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 利用料が直接経費を上回っているため、その部分で維持管理の手間が省けるよう通路等への防草シートを貼り、除草作業等の省力化を図る。								
改革改善による期待成果									
		コスト			外部評価の実施	無		実施年度	
		削減	維持	増加					
成果	向上				改善進捗状況等	H25進捗状況			
	維持	●				H25取組内容			
	低下								
					決算審査特別委員会における意見等	特になし (委員からの意見等)			